

目次

〈研究シーズ〉

学部学科等		職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	環境建築デザイン学科	教授	大井 鉄也	レトロフィット建築の方法論に関する研究	1
		准教授	玉田 浩之	近現代建築の歴史的・文化的価値の評価	2
		准教授	西澤 俊理	生態学的な建築学(生態建築学)の指定	3
工学部	機械システム工学科	講師	嵯峨 拓真	脳波を使用したブレイン・コンピュータ・インターフェースシステムの開発	4
人間文化学部	地域文化学科	講師	李 暎鎮	近世東アジア世界のなかでの日朝関係	5
	生活デザイン学科	教授	塚本 カナエ	製品企画・開発、ブランディング、デザインマーケティング、製品開発と絡めた地域興し、素材開発	6
	人間関係学科	教授	松嶋 秀明	さまざまな場で現れる子どもの「問題」から、よりよい支援を考えるフィールドワーク	7
		教授	大野 光明	社会運動資料の調査、受入、整理、公開	8
		講師	中村 好孝	現代の福祉や個人化現象を社会的に分析する	9
人間看護学部	人間看護学科	教授	藤井 誠	ビッグデータに基づくエビデンスの評価と展開	10
		准教授	古川 洋子	社会的養護にある児童への包括的性教育に関する研究	11
		講師	樋口 優子	母子と家族の健康に関わる現象の理解と誰もが成長できる生涯を通じたWell-beingの実現	12
		教授	糸島 陽子	看取りに必要な臨床推論力・実践力を育む教育	13
		教授	久保 美紀	慢性心不全高齢者の疾患管理支援	14
全学共通教育推進機構		講師	濱上 桂菜	動画を用いた効果的な英語学習を目指して	15

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

※ SDGs 目標別の研究シーズ：次頁からのSDGs 目次を参照してください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDG s 目次

各SDG s目標の他の研究者は研究シーズ集2024（統合版）および本学HPの「研究・産学連携→研究シーズ集」ページに掲載しています。ご参照ください。



1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間看護学部	准教授	古川 洋子	社会的養護にある児童への包括的性教育に関する研究	11
	教授	久保 美紀	慢性心不全高齢者の疾患管理支援	14

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

<SDG s 目標>



2. 飢餓をゼロに <2025年版は研究シーズの掲載なし>

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

<SDG s 目標>



3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
工学部	講師	嵯峨 拓真	脳波を使用したブレイン・コンピュータ・インターフェースシステムの開発	4
人間文化学部	教授	松嶋 秀明	さまざまな場で現れる子どもの「問題」から、よりよい支援を考えるフィールドワーク	7
	講師	中村 好孝	現代の福祉や個人化現象を社会的に分析する	9
人間看護学部	教授	藤井 誠	ビッグデータに基づくエビデンスの評価と展開	10
	准教授	古川 洋子	社会的養護にある児童への包括的性教育に関する研究	11
	講師	樋口 優子	母子と家族の健康に関わる現象の理解と誰もが成長できる生涯を通じたWell-beingの実現	12
	教授	糸島 陽子	看取りに必要な臨床推論力・実践力を育む教育	13
	教授	久保 美紀	慢性心不全高齢者の疾患管理支援	14

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

<SDG s 目標>



4. 質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間文化学部	講師	李 咳鎮	近世東アジア世界のなかでの日朝関係	5
人間看護学部	准教授	古川 洋子	社会的養護にある児童への包括的性教育に関する研究	11
全学共通教育推進機構	講師	濱上 桂菜	動画を用いた効果的な英語学習を目指して	15

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

<SDG s 目標>



5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間看護学部	准教授	古川 洋子	社会的養護にある児童への包括的性教育に関する研究	11
	講師	樋口 優子	母子と家族の健康に関わる現象の理解と誰もが成長できる生涯を通じたWell-beingの実現	12

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

SDG s 目次

各SDG s 目標の他の研究者は研究シーズ集2024（統合版）および本学HPの「研究・産学連携→研究シーズ集」ページに掲載しています。ご参照ください。

〈SDG s 目標〉



6. 安全な水とトイレを世界中に<2025年版は研究シーズの掲載なし>

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

〈SDG s 目標〉



7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

<2025年版は研究シーズの掲載なし>

すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

〈SDG s 目標〉



8. 働きがいも経済成長も <2025年版は研究シーズの掲載なし>

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

〈SDG s 目標〉



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

学部学科等		職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	環境建築デザイン学科	教授	大井 鉄也	レトロフィット建築の方法論に関する研究	1
		准教授	玉田 浩之	近現代建築の歴史的・文化的価値の評価	2
工学部	機械システム工学科	講師	嵯峨 拓真	脳波を使用したブレイン・コンピュータ・インターフェースシステムの開発	4
人間文化学部	生活デザイン学科	教授	塚本 カナエ	製品企画・開発、ブランディング、デザインマーケティング、製品開発と絡めた地域興し、素材開発	6

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

〈SDG s 目標〉



10. 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間文化学部	教授	大野 光明	社会運動資料の調査、受入、整理、公開	8
	講師	中村 好孝	現代の福祉や個人化現象を社会的に分析する	9

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

〈SDG s 目標〉



11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

学部学科等		職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	環境建築デザイン学科	教授	大井 鉄也	レトロフィット建築の方法論に関する研究	1
		准教授	玉田 浩之	近現代建築の歴史的・文化的価値の評価	2
人間文化学部	生活デザイン学科	教授	塚本 カナエ	製品企画・開発、ブランディング、デザインマーケティング、製品開発と絡めた地域興し、素材開発	6
人間看護学部	人間看護学科	教授	藤井 誠	ビッグデータに基づくエビデンスの評価と展開	10
		教授	糸島 陽子	看取りに必要な臨床推論力・実践力を育む教育	13
		教授	久保 美紀	慢性心不全高齢者の疾患管理支援	14

<研究者別 研究分野・キーワード一覧>

16-19

SDG s 目次

各SDG s 目標の他の研究者は研究シーズ集2024（統合版）および本学HPの「研究・産学連携→研究シーズ集」ページに掲載しています。ご参照ください。

〈SDG s 目標〉



12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	教授	大井 鉄也	レトロフィット建築の方法論に関する研究	1
	准教授	西澤 俊理	生態学的な建築学(生態建築学)の指針	3
人間文化学部	教授	塚本 カナエ	製品企画・開発、ブランディング、デザインマーケティング、製品開発と絡めた地域興し、素材開発	6

＜研究者別 研究分野・キーワード一覧＞

16-19

〈SDG s 目標〉



13. 気候変動に具体的な対策を<2025年版は研究シーズの掲載なし>

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

〈SDG s 目標〉



14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
環境科学部	准教授	西澤 俊理	生態学的な建築学(生態建築学)の指針	3

＜研究者別 研究分野・キーワード一覧＞

16-19

〈SDG s 目標〉



15. 陸の豊かさを守ろう <2025年版は研究シーズの掲載なし>

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

〈SDG s 目標〉



16. 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間文化学部	講師	李 晔鎮	近世東アジア世界のなかでの日朝関係	5
	教授	松嶋 秀明	さまざまな場で現れる子どもの「問題」から、よりよい支援を考えるフィールドワーク	7
	教授	大野 光明	社会運動資料の調査、受入、整理、公開	8

＜研究者別 研究分野・キーワード一覧＞

16-19

〈SDG s 目標〉



17. パートナリシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

学部学科等	職名	氏名	タイトル	ページ
人間文化学部	講師	李 晔鎮	近世東アジア世界のなかでの日朝関係	5
	教授	松嶋 秀明	さまざまな場で現れる子どもの「問題」から、よりよい支援を考えるフィールドワーク	7
	教授	大野 光明	社会運動資料の調査、受入、整理、公開	8
人間看護学部	講師	樋口 優子	母子と家族の健康に関わる現象の理解と誰もが成長できる生涯を通じたWell-beingの実現	12

＜研究者別 研究分野・キーワード一覧＞

16-19